

平成25年7月

平成25年	4月	～	6月期	実績
平成25年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

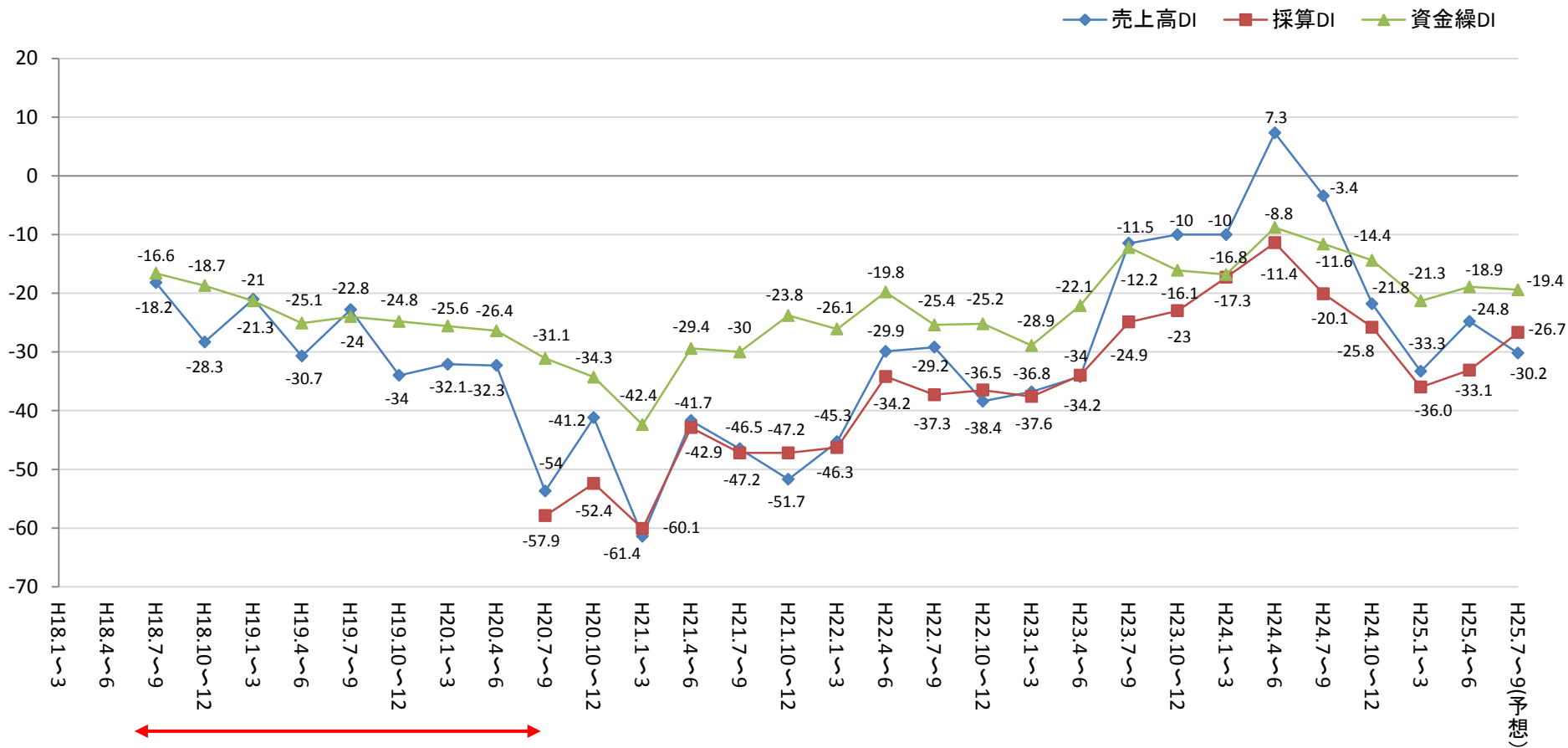
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成23年		平成24年				平成25年		(見通し)
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
製 造 業	薄曇	薄曇	薄曇	曇	曇	雨	雨	雨	雨
建 設 業	薄曇	晴	晴	晴	薄曇	晴	薄曇	薄曇	晴
小 売 業	雨	雨	雨	薄曇	雨	雨	雨	雨	雨
サ ー ビ ス 業	曇	薄曇	曇	晴	曇	曇	曇	曇	雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	快晴	晴	薄曇	曇	雨

全産業の推移

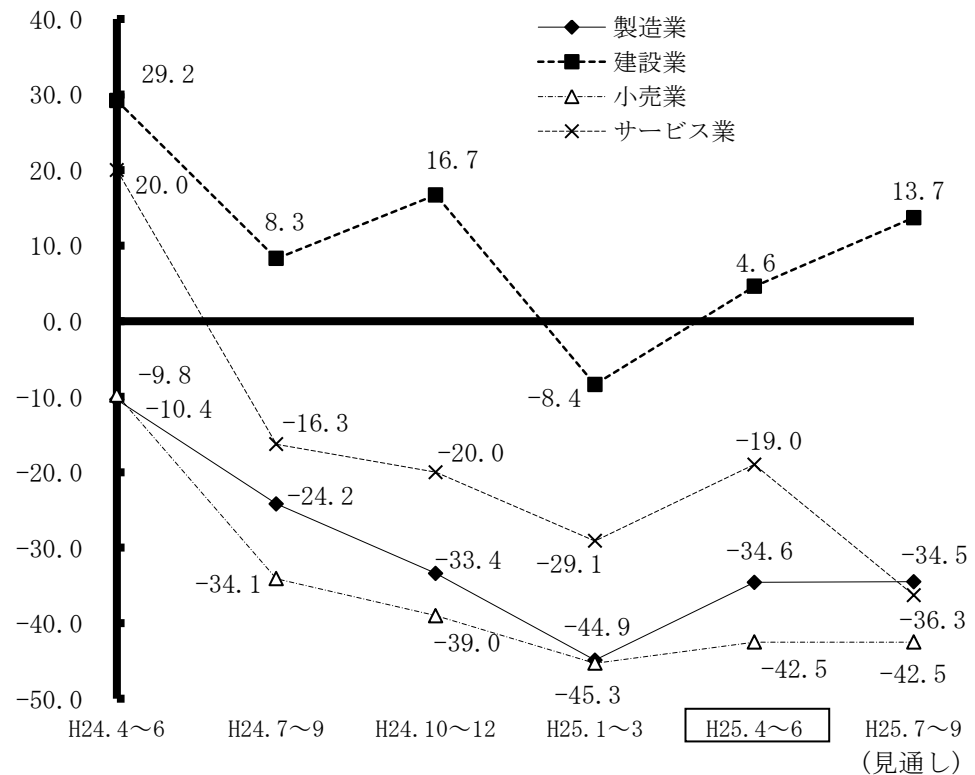
売上高

建設業では好調に転じ、製造業では不透明感

今期は、全業種でD I値が回復傾向を示し、建設業においては、公共事業の完工期にあたり、13ポイント上昇の4.6とプラスに転じました。

その他の業種においても、上昇傾向が続く、製造業では、10.3ポイント、サービス業では、10.1ポイントの増加となりました。

来期は、建設業において、引き続き堅調に推移するものの、サービス業においては、17.3ポイント低下の△36.3と急激に悪化する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

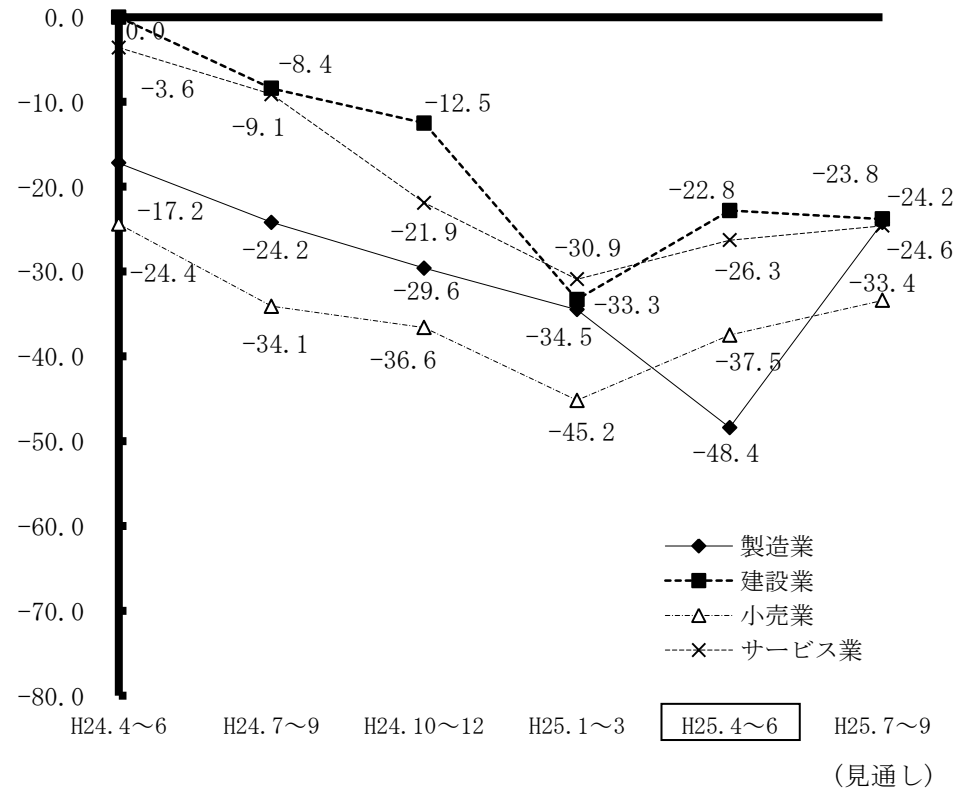
来期の製造業の回復に期待感

今期は、製造業、小売業、サービス業の3業種において、回復基調を示し、特に建設業では、売上の急激な回復に伴い、10.5ポイント上昇の△22.8と大きく好転しました。

一方、製造業においては、13.9ポイントマイナスの△48.4となり過去最低の水準まで低下しました。

来期は、建設業において、若干低下する見通しですが、その他の業種では回復が見込まれ、特に、製造業においては、24.2ポイント上昇の△24.2と、大きく改善する見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



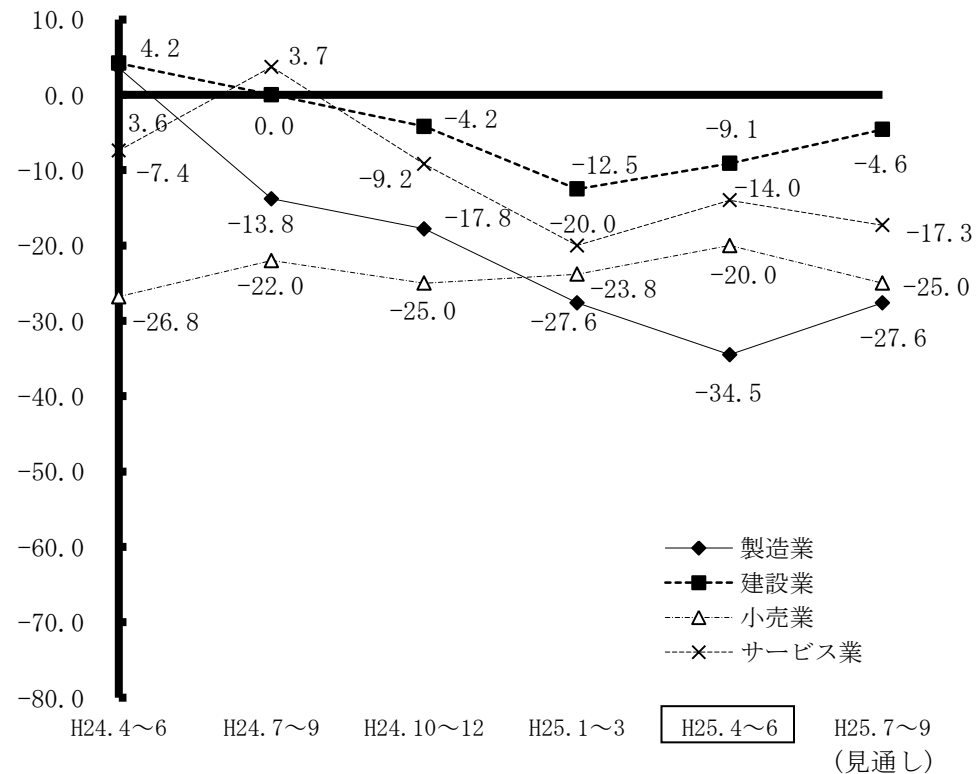
全産業の推移

資金繰り

小売業・サービス業の資金繰り悪化が懸念

今期は、製造業において、採算の悪化に伴い、6.9ポイントマイナスの△34.5まで低下しましたが、他の3業種では回復傾向となり、サービス業において、6.0ポイント上昇の△14.0となりました。

来期は、製造業において、6.9ポイント上昇と回復に転じるほか、建設業においても、引き続き回復基調を維持する見込みです。しかし、小売業およびサービス業では、資金繰りの悪化が懸念される見通しとなっています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

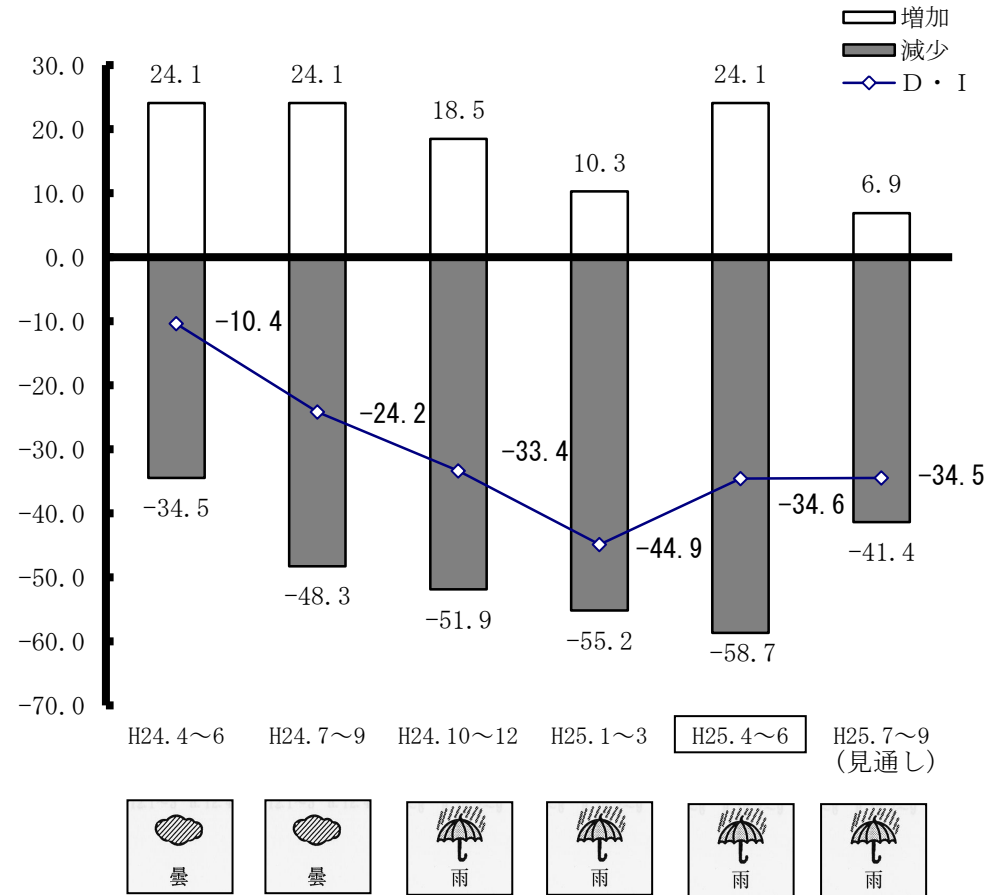


<来期見通し>



今期は、売上高の減少企業割合が若干増加しましたが、増加企業割合が大幅に増加したことより、売上高D・Iは10.3ポイント上昇の△34.6となり、回復基調に転じました。

来期は、売上高の減少を予想する企業が持ち直すものの、今期の反動から、増加企業の割合も大幅に縮小し、△34.5で推移すると予想されます。



製造業の推移

採算

<今 期>

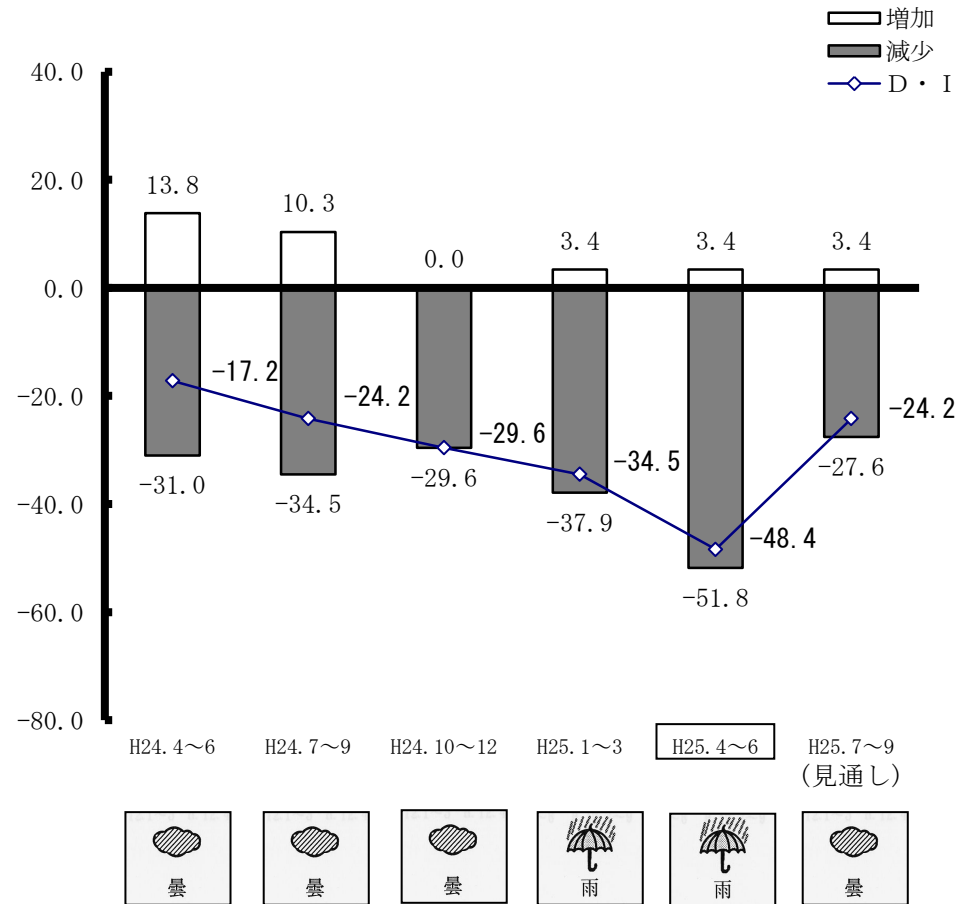


<来期見通し>



今期は、前期に比べ採算の悪化を挙げる企業の割合が増加したことにより、採算D・Iは低下し、△48.4と低下傾向に歯止めがかからない状況となりました。原材料や経費の増加による影響が挙げられます。

来期の採算D・Iは、採算が減少する企業が大幅に改善されると予想され、24.2ポイント上昇の△24.2となる見込みであり、予想天気図も曇りとなりそうです。

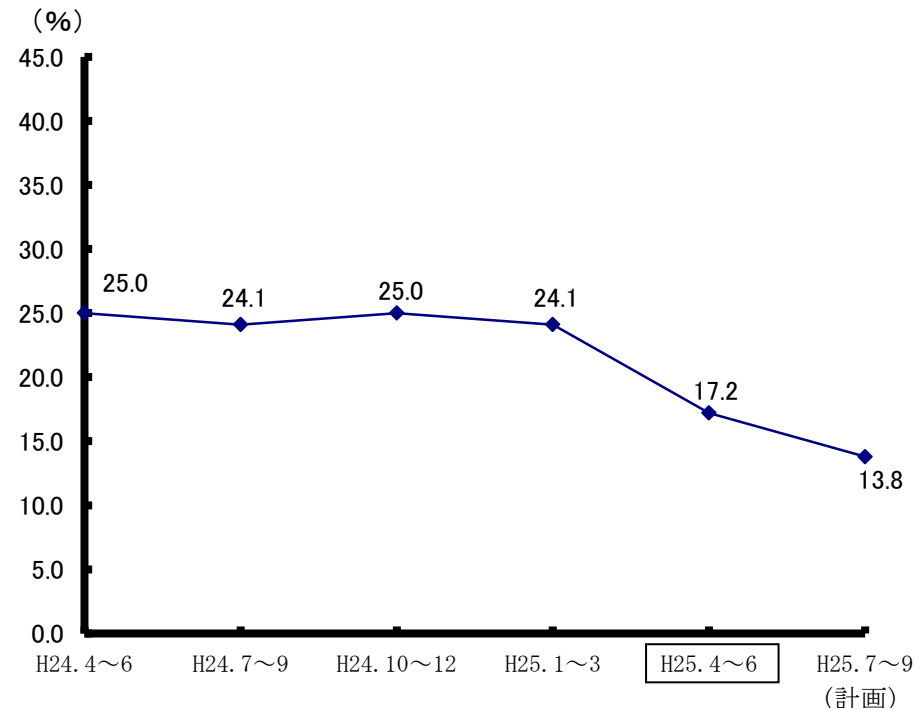


設備投資

今期見通しでは、設備投資を行う企業は引き続き減少となり、17.2%となり、低下傾向に拍車をかける結果となりました。これは、需要の停滞のほか、原材料や経費の高騰などに起因することが考えられます。

来期は、設備投資を計画している企業の割合が更に減少し、13.8%となる見通しで、設備投資は、さらに抑えられることが予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

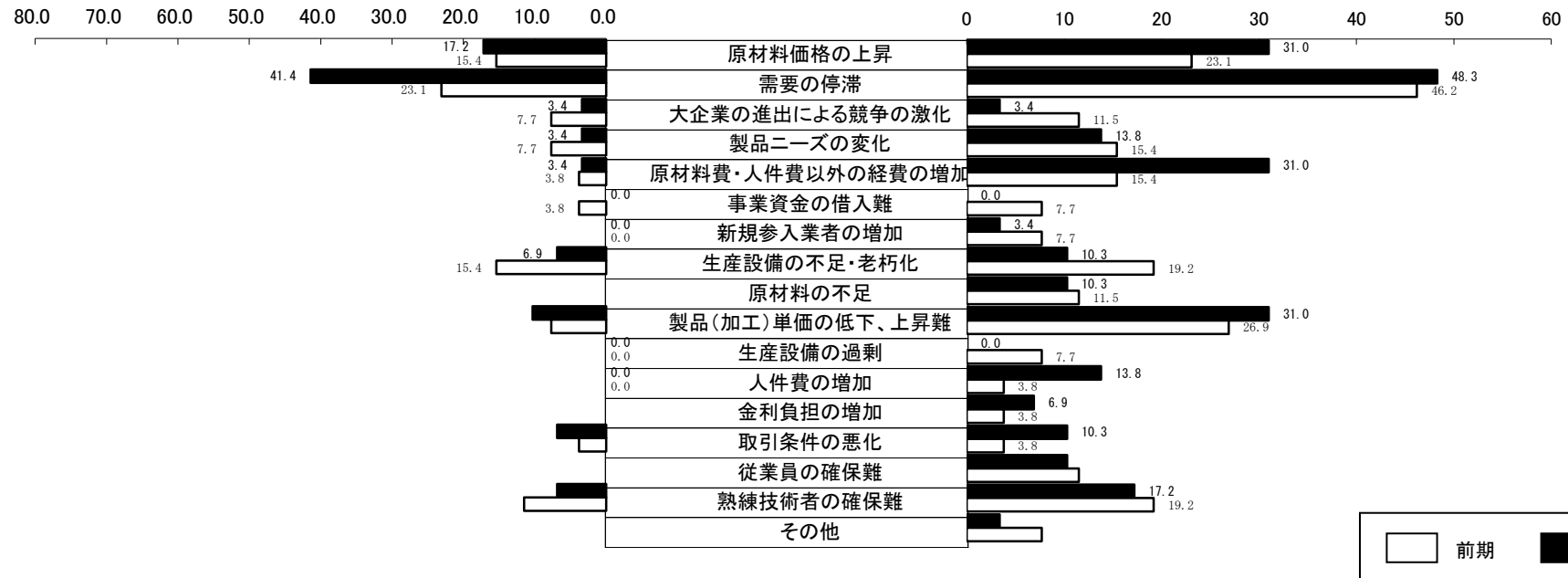
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

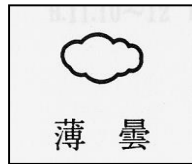
(目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

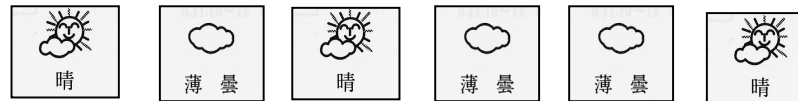
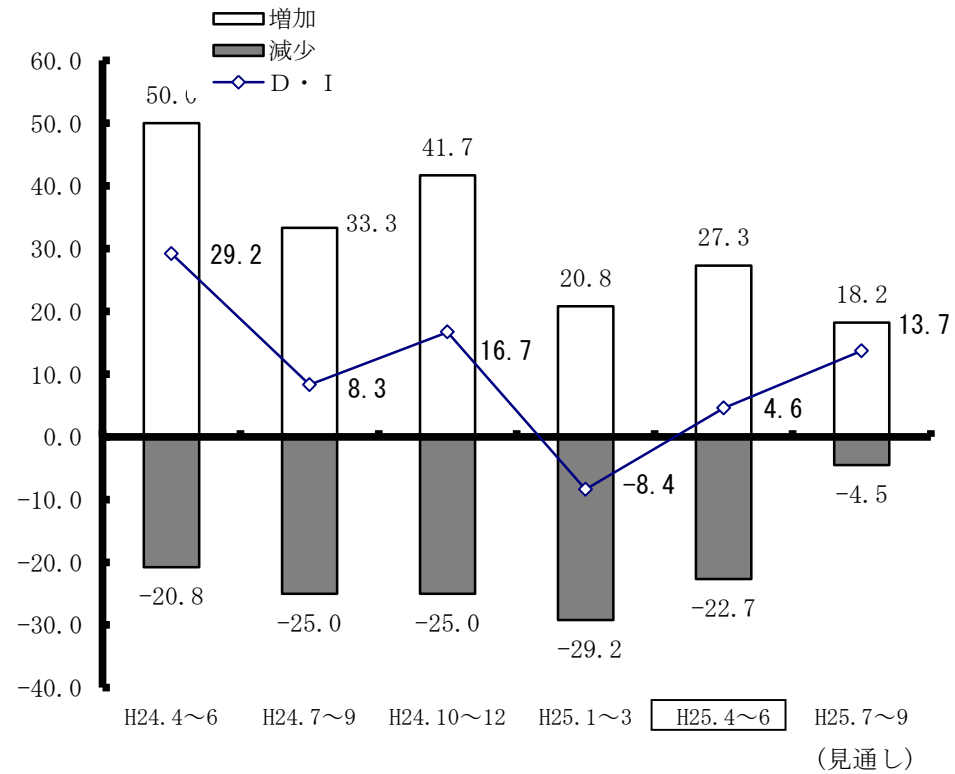


<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が増加したほか、売上の低下を挙げた企業の割合も減少し、売上高D・Iは3.8ポイント上昇の4.6となり、プラスに上昇しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少するものの、売上高の減少を予想する企業の割合が、引き続き減少することから、売上高D・Iはさらに増加し、13.7まで上昇し、予想天気図は晴となる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

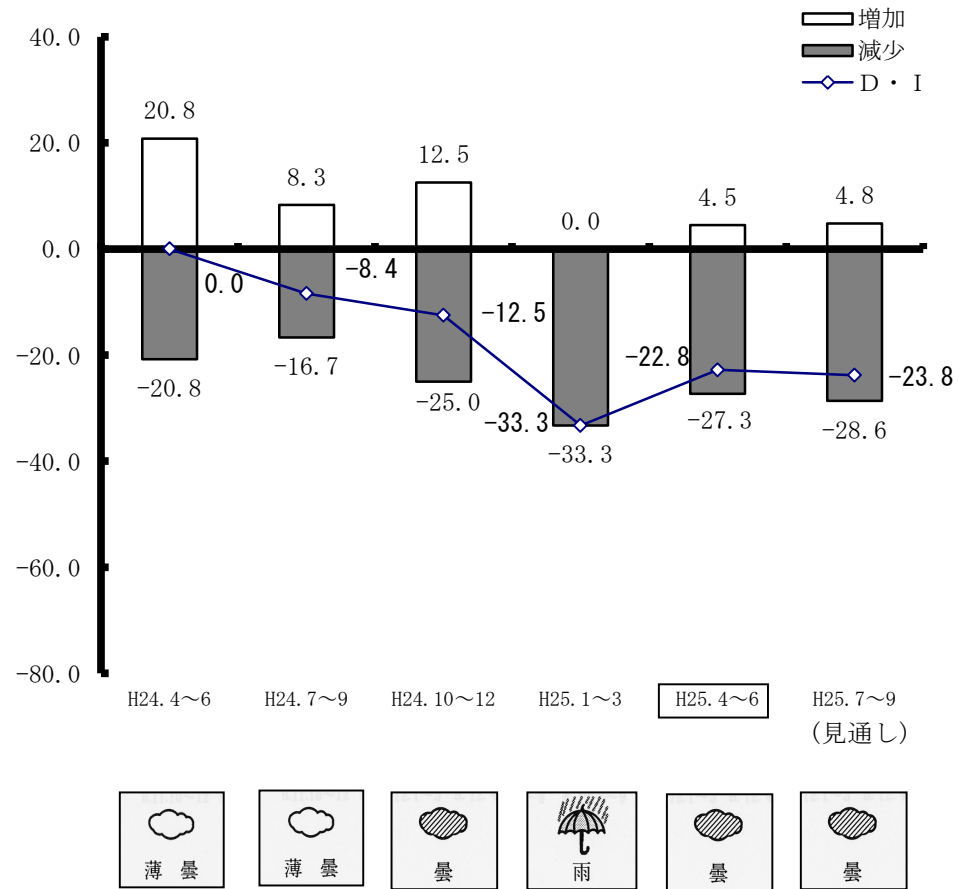


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業が増加したほか、採算悪化企業への減少により、10.5ポイント上昇の△22.8となりました。これは、売上高が増加したことによるものと思われます。

来期は、採算悪化すると予想する企業が若干増加するものの、好転を予想する企業も若干の増加が予想され、採算D・Iは同水準で推移すると見込まれます。

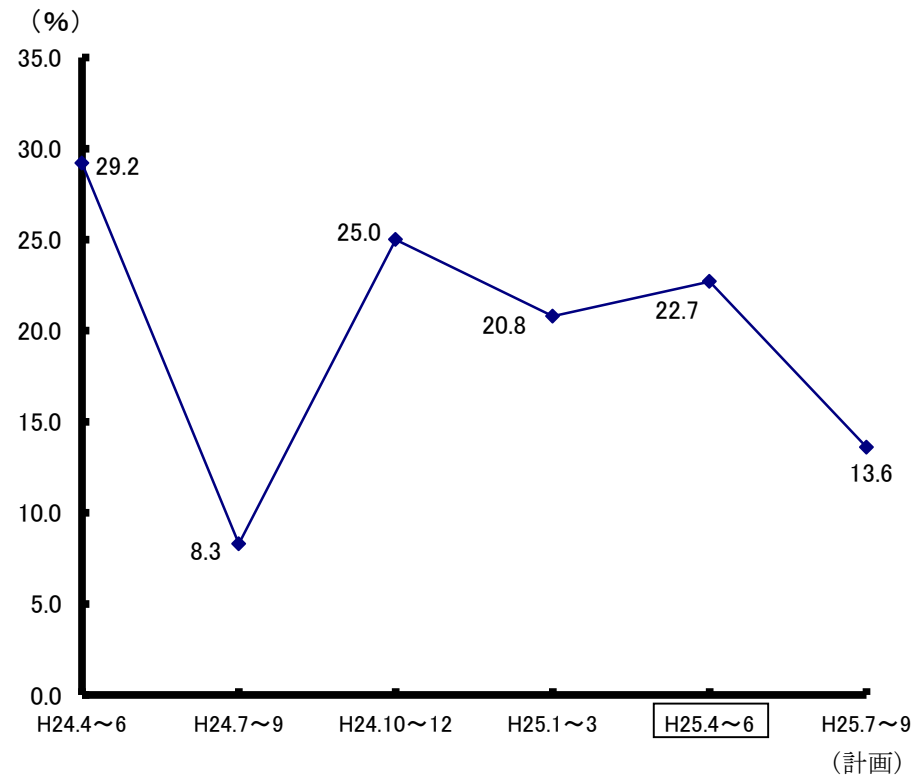


設備投資

前期見通しでは、設備投資を実施する企業は16.7%まで減少すると予想されていましたが、実際は、22.7%と増加に転じる結果となりました。

来期は、設備投資を予定する企業は大幅に減少し、13.6%まで低下する見通しです。これは、材料価格の上昇による先行き不面感によるものと思われます。

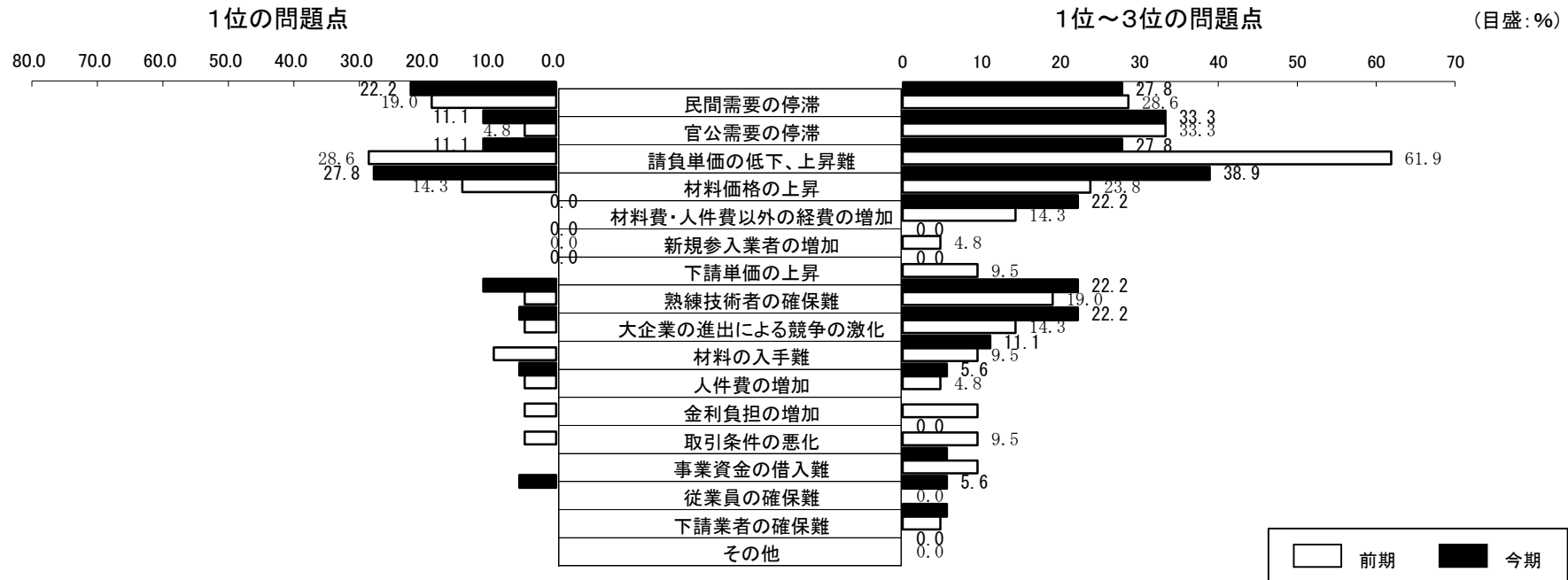
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

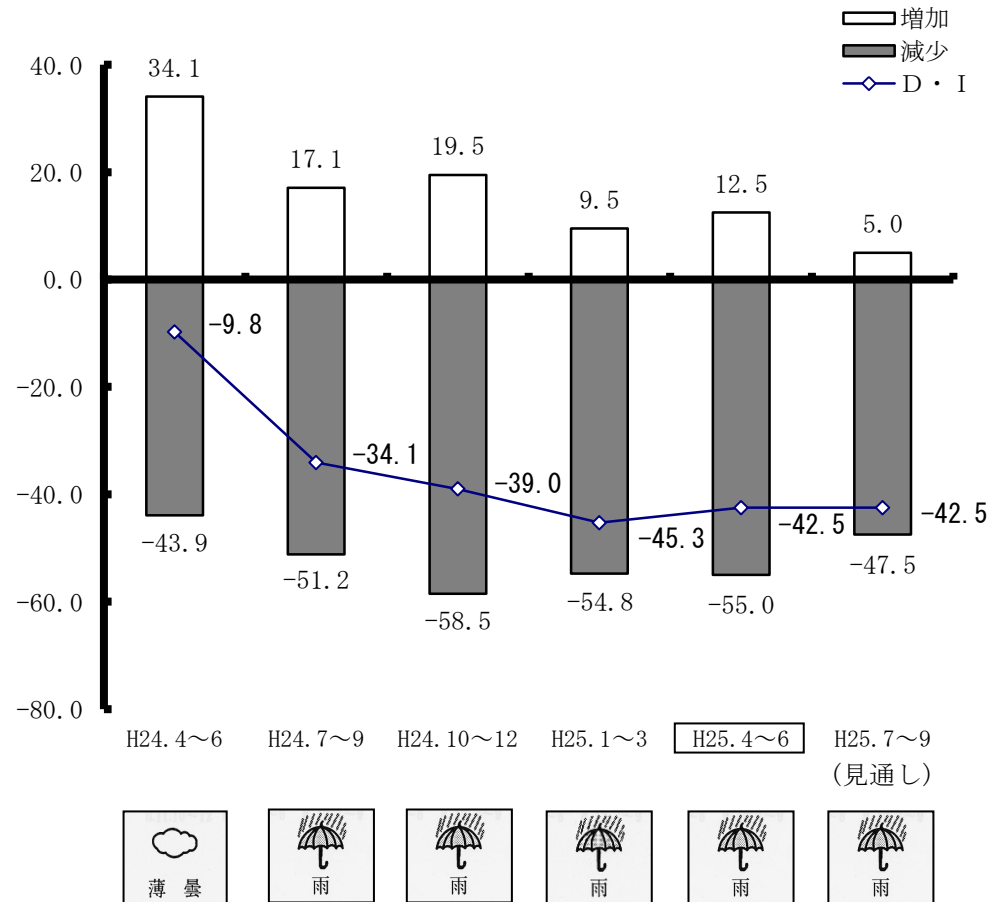


<来期見通し>



今期は、売上高減少企業の割合が増加したものの、それ以上に売上高増加企業が3.0ポイント増加したことから、売上高D・Iは、2.8ポイント上昇の△42.5と若干回復しましたが、業況天気図は、依然雨で推移しました。

来期は、売上高増加予想企業が減少するほか、売上高減少企業も、減少するため、売上高D・Iは、今期と同水準となる見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

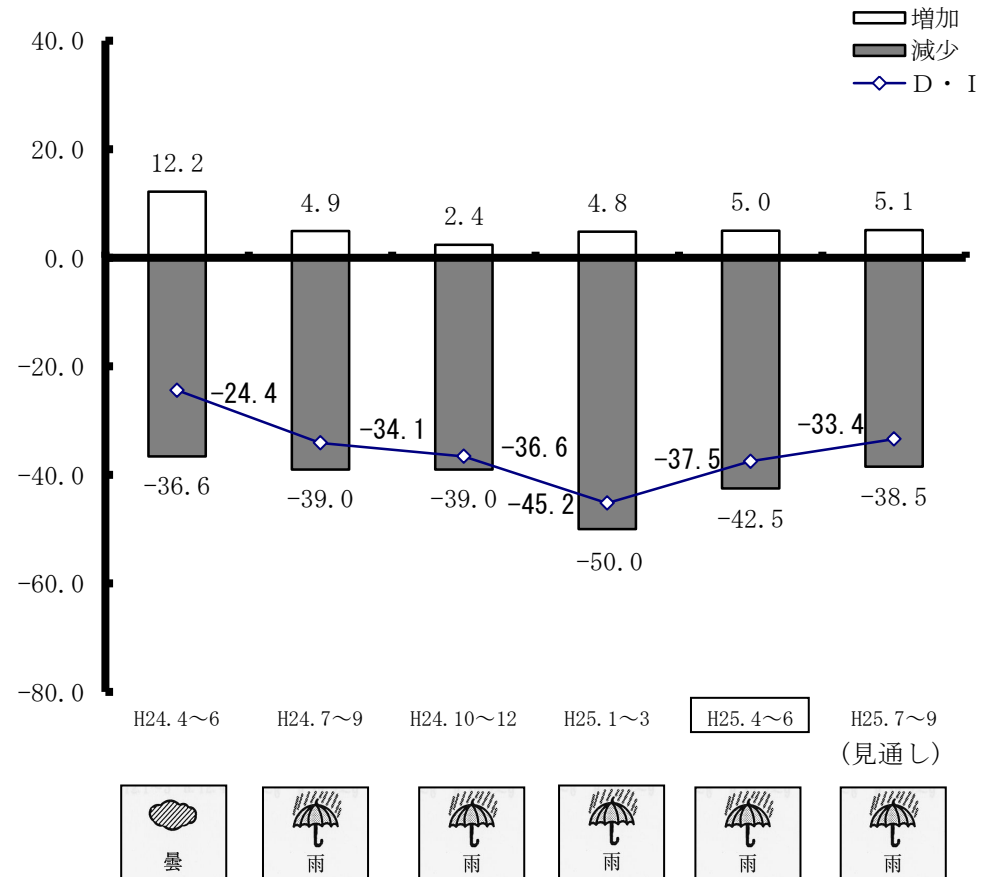


<来期見通し>



前期見通しでは、低いレベルでの横ばいが予想されていましたが、マイナス幅が7.7ポイント上昇の△37.5となりました。これは、売上以上に採算が回復したことが考えられます。

来期は、さらに採算悪化企業が減少することが予想され、伸び率は鈍化するものの、引き続き回復基調が見込まれます。

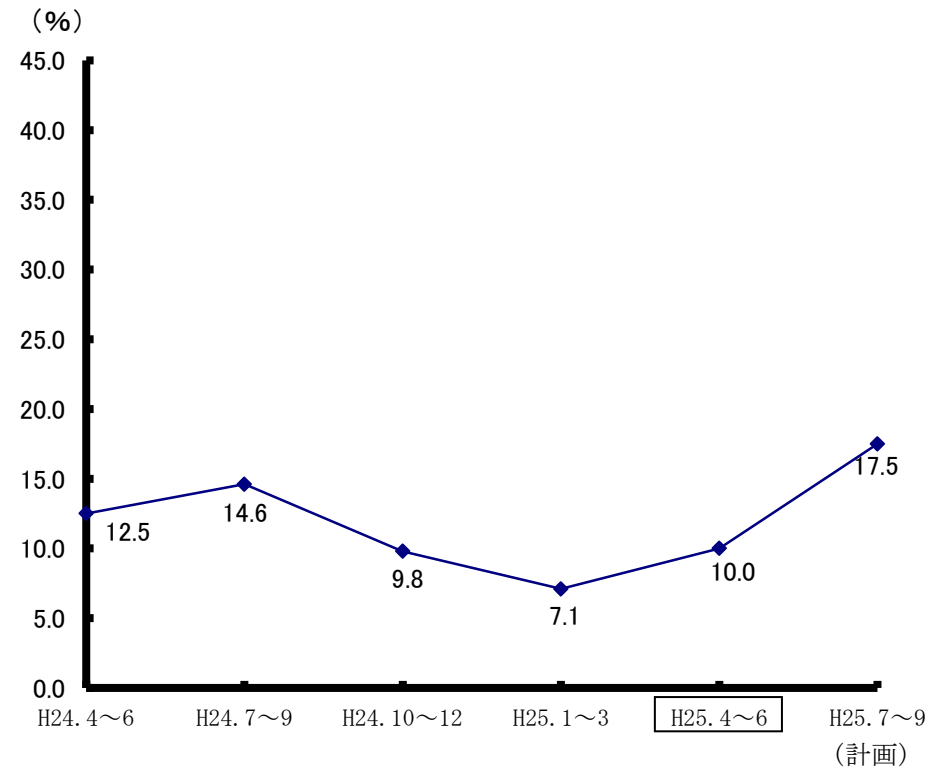


設 備 投 資

前期見通しと比べ、売上・採算に若干の回復基調が見られたことから、実際に設備投資を実施した企業は、3.0%増加し、10.0%まで回復しました。

来期は、さらに設備投資を計画している企業が増え、17.5ポイントまで増加すると予想され、近年にない上がり幅が見込まれております。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

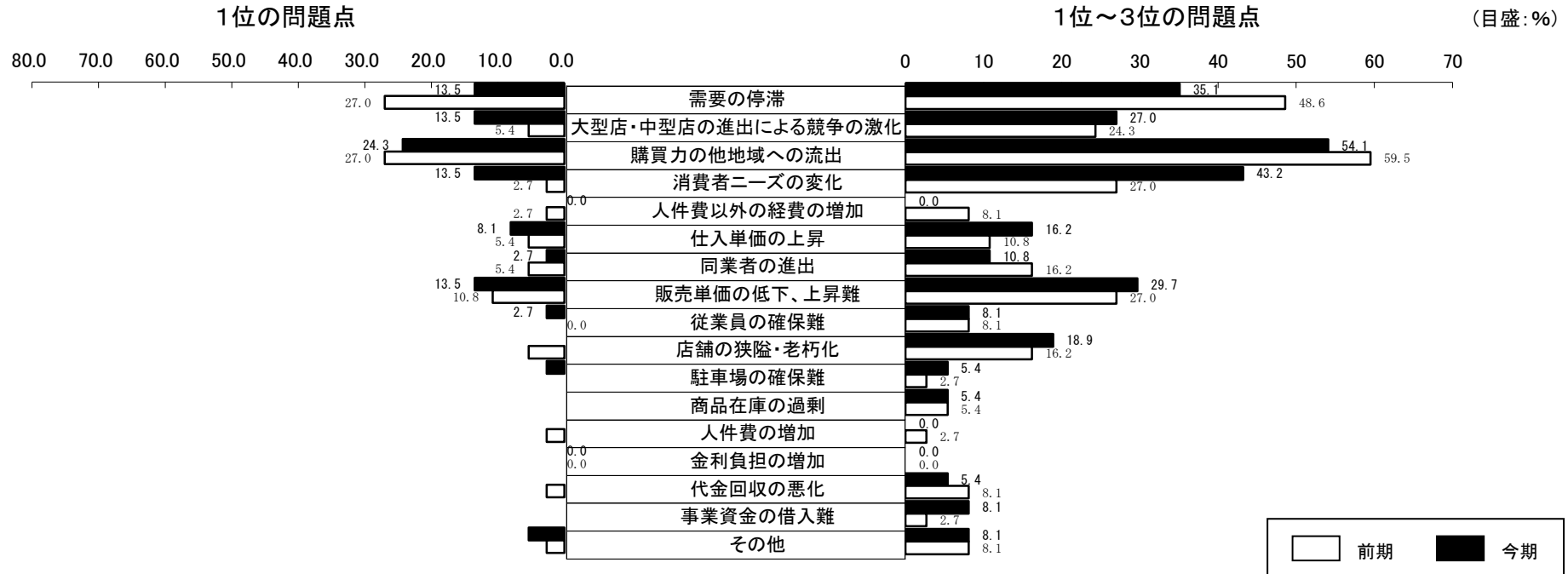


小売業の推移

経営上の問題点

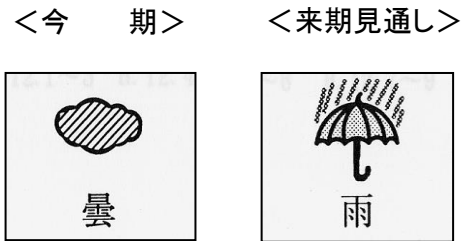
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



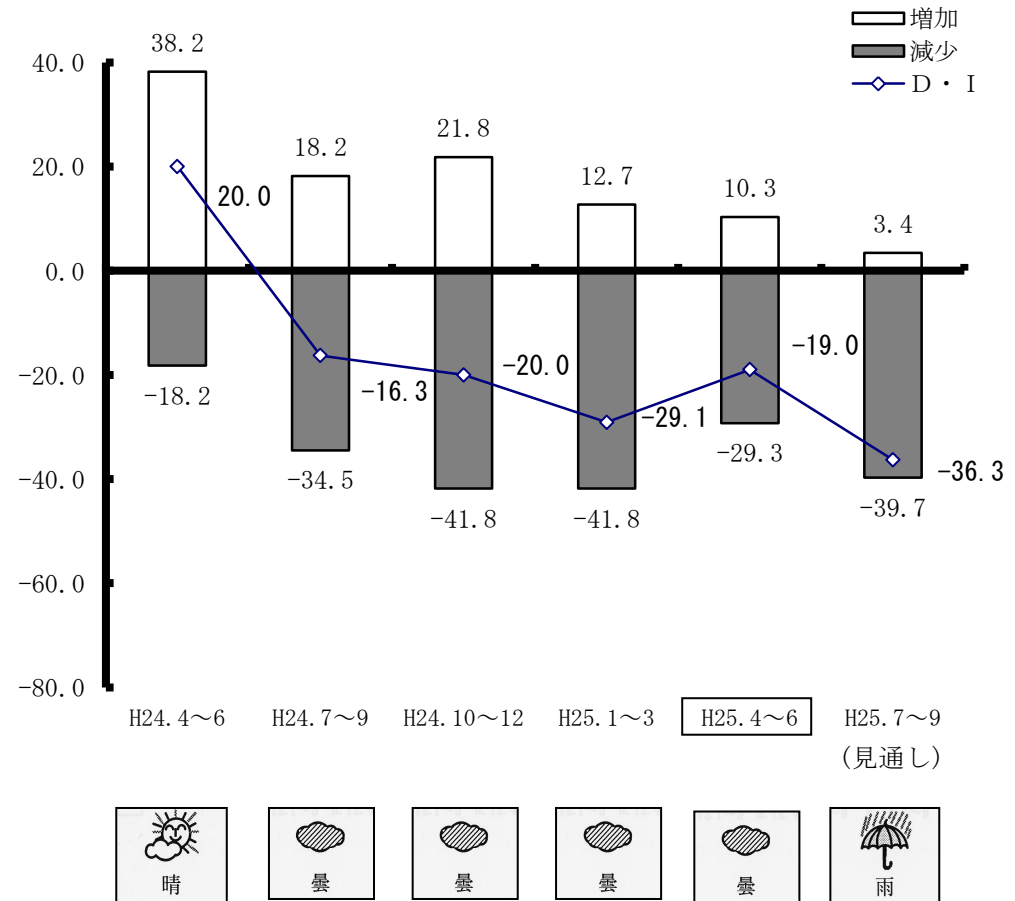
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高増加企業が前期より若干減少したものの、売上高減少企業が10.1ポイント減少し、売上高D・Iは、△19.0となり、売上高は増加傾向に転じました。

来期は、売上高増加を予想する企業割合が減少するほか、売上高減少企業が増加することが見込まれ、売上高D・Iは△36.3となり、今期の反動が危惧される見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

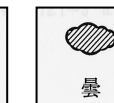
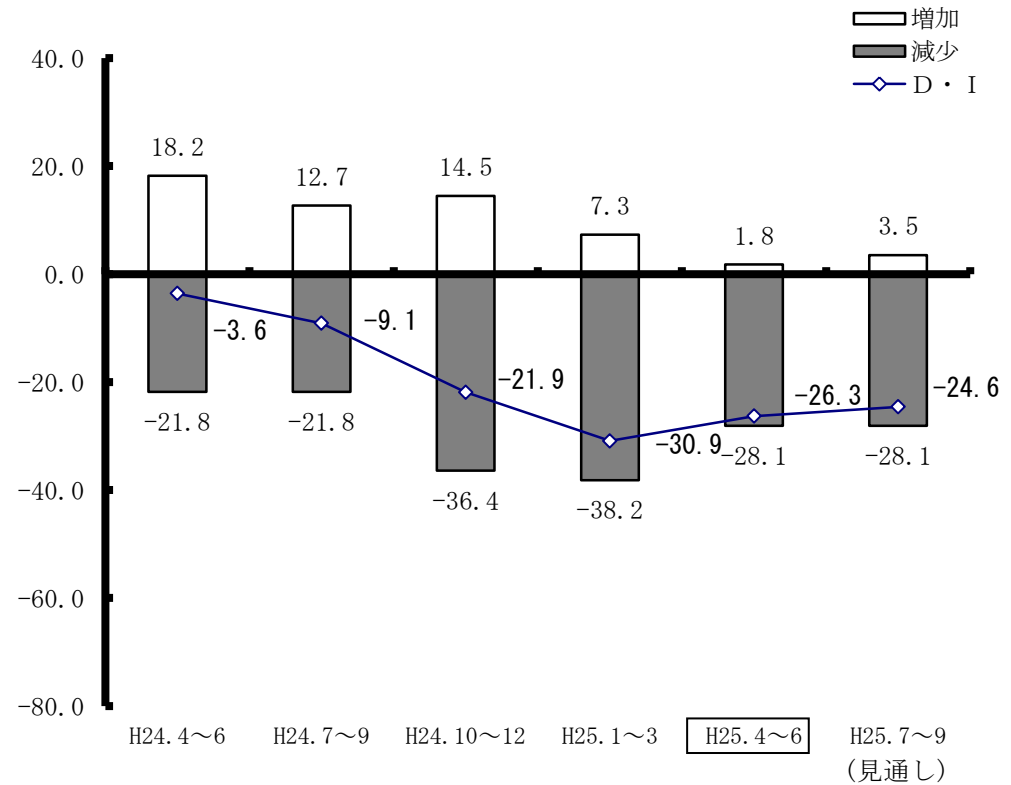


<来期見通し>



今期は、採算増加企業が減少しましたが、採算悪化企業が大幅に減少したことから、4.6ポイント減少の△26.3となり、採算D・Iは下げ止まりました。これは、売上高の回復によるものと思われます。

来期は、採算の好転を予想する企業は増加することが予想されますので、引き続き、回復基調を維持する見通しです。

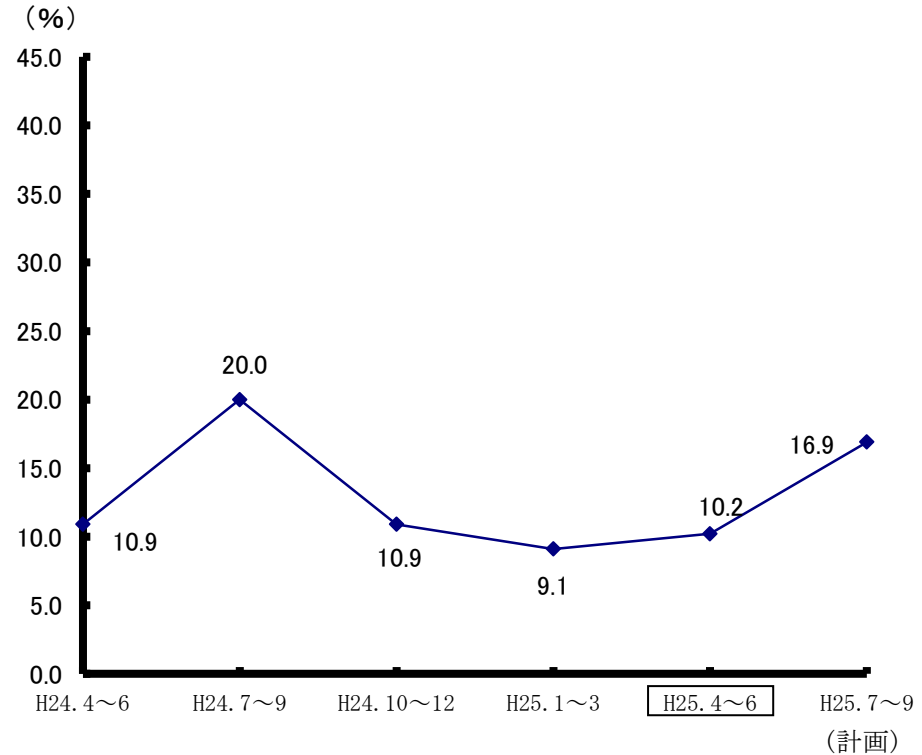


設備投資

今期は、設備投資実施企業は1.1ポイント回復の10.2%となり、若干の増加傾向に転じました。これは、売上・採算とも回復基調に転じたことによるものと思われます。

来期は、さらに設備投資の実施を検討する企業が増加し、16.9%の水準まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

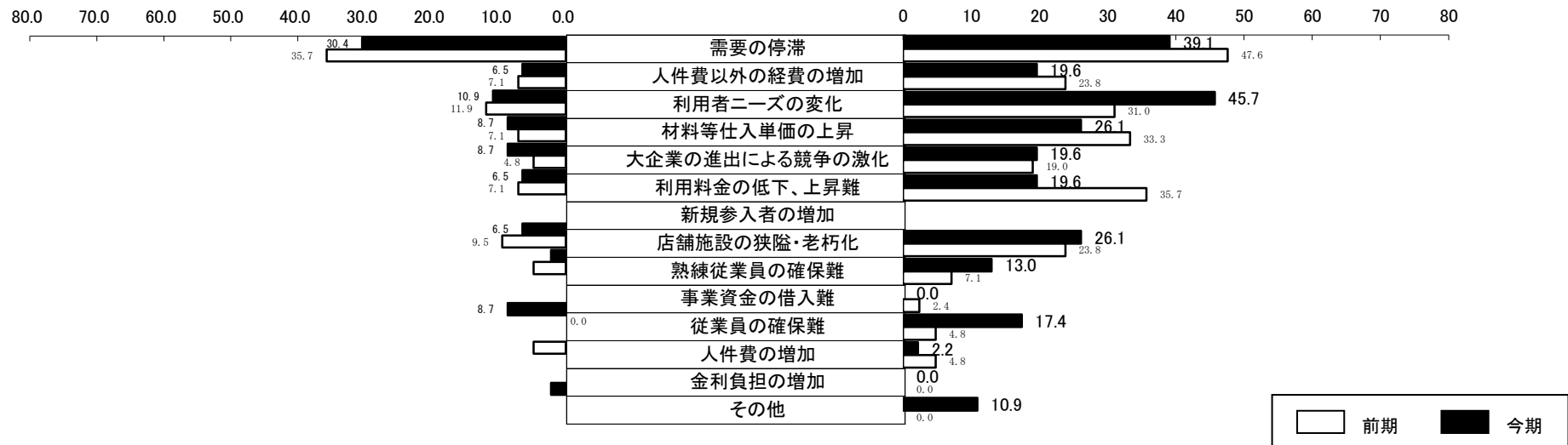
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

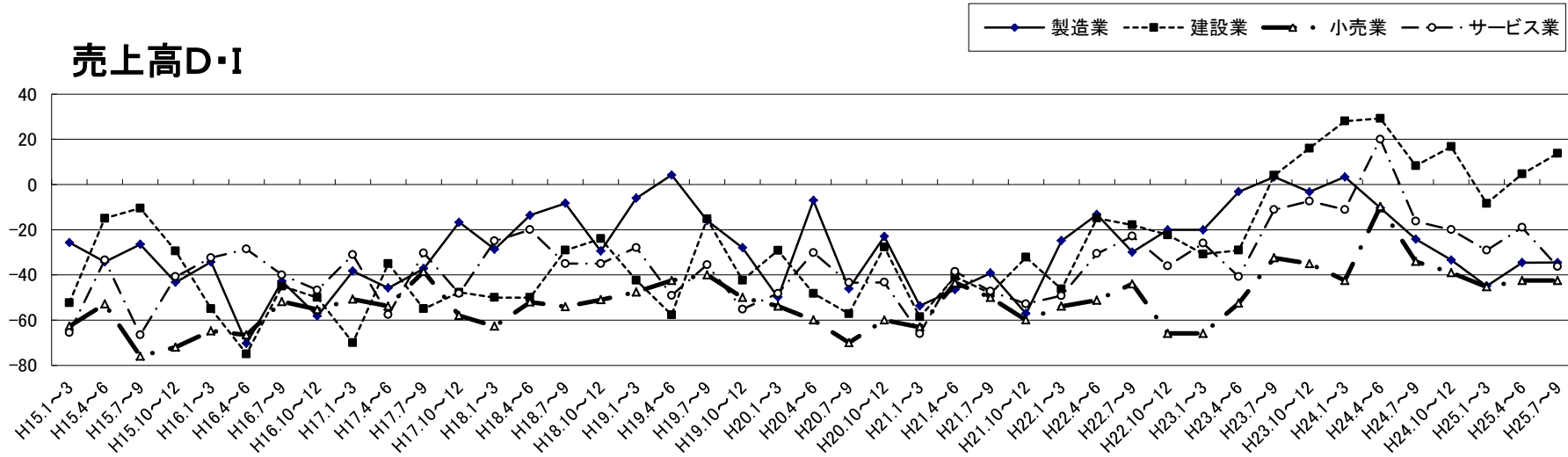
1位~3位の問題点

(目盛: %)

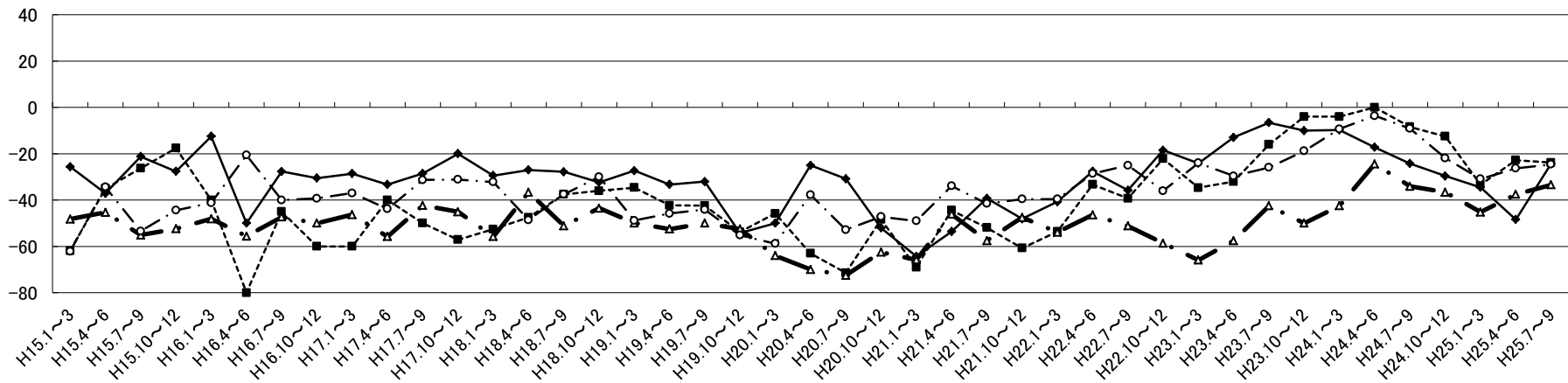


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、葛巻町、紫波町
(商工会名) 西和賀、金ヶ崎町、岩泉、普代、洋野町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成25年4月～6月を対象とし、調査時点は平成25年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		30 (20.0)	30 (20.0)	100.0
建設業		22 (14.7)	22 (14.7)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		58 (38.7)	58 (38.7)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。